

予算決算常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和3年9月3日(金) 議場
2. 出席委員 五島誠委員長 谷口隆明副委員長 赤木忠徳 林高正 横路政之 宇江田豊彦
坂本義明 堀井秀昭 福山権二 徳永泰臣 政野太 桂藤和夫 藤木百合子 藤原洋二
吉川遂也 國利知史 松本みのり 前田智永 坪田朋人
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 花田讓二議会事務局長 俵啓介議会事務局議事調査係長 山崎啓介議会事務局主任
5. 説明員 加藤孝総務部長 中原博明財政課長 沖田晋耶財政課財政係長
6. 委員外議員 なし
7. 傍聴者 2名(うち議員 近藤久子)
8. 会議に付した事件

1. 付託議案

- 議案第132号 令和2年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第133号 令和2年度庄原市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について
議案第134号 令和2年度庄原市歯科診療所特別会計歳入歳出決算認定について
議案第135号 令和2年度庄原市休日診療センター特別会計歳入歳出決算認定について
議案第136号 令和2年度庄原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第137号 令和2年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)歳入歳出決算認定について
議案第138号 令和2年度庄原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第139号 令和2年度庄原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第140号 令和2年度庄原市介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第141号 令和2年度庄原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第142号 令和2年度庄原市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第143号 令和2年度庄原市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第144号 令和2年度庄原市水道事業会計決算認定について
議案第145号 令和2年度庄原市下水道事業会計決算認定について
議案第146号 令和2年度庄原市国民健康保険病院事業会計決算認定について
議案第147号 令和2年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定について

午後3時44分 開 議

- 五島誠委員長 これより予算決算常任委員会を開会いたします。ただいまの出席委員は19名であります。よって、直ちに本日の会議を開きます。本日の会議におきまして、傍聴、写真撮影、録音、録画を許可いたしております。

1. 付託議案

- 議案第132号 令和2年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定について

- 議案第 133 号 令和 2 年度庄原市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 134 号 令和 2 年度庄原市歯科診療所特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 135 号 令和 2 年度庄原市休日診療センター特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 136 号 令和 2 年度庄原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 137 号 令和 2 年度庄原市国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算認定について
- 議案第 138 号 令和 2 年度庄原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 139 号 令和 2 年度庄原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 140 号 令和 2 年度庄原市介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 141 号 令和 2 年度庄原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 142 号 令和 2 年度庄原市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 143 号 令和 2 年度庄原市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 144 号 令和 2 年度庄原市水道事業会計決算認定について
- 議案第 145 号 令和 2 年度庄原市下水道事業会計決算認定について
- 議案第 146 号 令和 2 年度庄原市国民健康保険病院事業会計決算認定について
- 議案第 147 号 令和 2 年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定について

○五島誠委員長 本委員会への付託案件について、議案第 132 号、令和 2 年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定の件から、議案第 147 号、令和 2 年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定の件までを一括審査することといたします。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長 異議なしと認めます。よって、そのように決定をいたします。審査の方法につきましては、常任委員会の所管事務の例による区分により分科会において審査することを、8 月 10 日の本委員会でも確認しておりますので、本日は説明を受け、全体質疑のみを行います。9 月 6 日以降の分科会日程については、配付資料のとおり予定しております。これより、執行者より説明を受けます。財政課長。

○中原博明財政課長 それでは、令和 2 年度の決算の概要並びに普通会計決算カード、と申しましても、A 4、2 枚もので簡潔に説明をさせていただきます。市長の挨拶、また、監査委員からの概要説明、報告がございましたので、なるべく重複を避けて説明をさせていただければと思います。それでは、概要の 1 ページでございます。令和 2 年度の一般会計の決算規模、歳入歳出につきまして、それぞれ増額となっております。金額については先ほどございましたので省略をさせていただきます。実質収支を差し引いた単年度収支については、この 2 枚ものの決算カードの 2 ページの上段の左側にそれぞれ歳入総額から記載をしております。普通会計ベースでございます。総務省基準によりまして、他市町との比較が容易なように公営企業であるとか準公営企業のもの以外の総務省基準による普通会計ベースのものでございます。ここで、実質単年度収支、10 番でございますが、2 年度については、5,738 万 2,000 円ということで、2 年ぶりの赤字と。積立よりは、財調の取り崩し 3 億 2,000 万円が多かったというものでございます。また、この表では、右側の中段に経常収支比率というものを記載しております。2 年度については、96.5%ということになりました。3 ページ、4 ページ、それぞれ分母、分子がございしますが、経常収支比率については、歳出の経常一般財源も、公債費の伸びが大きかった

ものですから、全体で2,000万円と、歳出の経常一般、ふえたのですけれども、それ以上に3ページの歳入の上段にございますが、地方消費税交付金が8億円余り、大きく伸びております。また、普通交付税についても、経常一般財源以上に伸びておりますので、その関係上、分母が大きくなったということで、経常収支比率については、若干ではございますが、改善が図られた決算となりました。それでは、また、決算の概要に戻っていただいて、2ページが市債の現在高の状況について記載しておりますが、発行状況については、ごらんとおりでございまして、実質公債費比率、というところからでございますが、1時期、20年度では23.5%まで上昇いたしましたけれども、2年度決算では、先ほどもありましたが、11.9%となったところでございます。それでは、3ページが歳入決算の概要ということで、主なものを説明いたします。まず、市税につきましては、詳細5ページへ記載しておりますが、個人市民税については若干増加しておりますけれども、全てではないのですが、新型コロナウイルスの影響等によりまして、法人市民税が2,500万円余りの減額と。また、入浴施設の休館等によりまして、入湯税について647万円の減額となって、税込全体では0.4%の減額決算となりました。徴収率について、5ページの最下段へ徴収率の推移を掲載しております。今回また、88.7%と前年比で0.9%減となりましたが、新型コロナウイルスの影響で徴収猶予を3,600万円程度猶予しております関係で、0.9%減となったものでございます。普通交付税については、説明は省略をさせていただいて、残りの歳入、3ページにお戻りいただいて、歳入決算の概要の②の各種交付金でございますけれども、先ほど申し上げた地方消費税の交付金が1億4,000万円余りの増と、自動車税環境性能割交付金の2,600万円増などにより、13.5%、各種交付金については伸びております。地方特例交付金については、67.1%の減となっておりますが、子ども・子育て支援臨時交付金と保育無償化によるものの補填が単年度措置であったもので、9,430万円の皆減による影響でございます。国庫支出金については経済対策として実行いたしました1人10万円給付の特別定額給付金給付事業費・事務費補助金が34億6,731万円と。また、地方創生臨時交付金が12億7,364万円ということで、全体で116.8%の増となりました。県支出金につきましても、林業用の施設災害復旧事業であるとか、過年農地の災害復旧事業補助金の増によりまして、全体で9.5%の増となりました。繰入金については、財調からの繰入が前年度1億円から3億2,000万円に増加したために、大きく伸びた決算となりました。最後、その他でございますが、前年度繰越金が2億2,000万円減額等により、24.1%の減となっております。それでは、飛びまして、7ページからが歳出決算の概要となります。まず、款別に増減の内容について記載しておりますが、特徴的な点のみ。総務費については、先ほど言いました、特別定額給付金は34億円余りの増ということです。民生費については西城保育所施設の整備が6億4,000万円、これが減額となったことにより、8.5%の減ということになっております。衛生費では、新焼却施設のプラント建設等によりまして、15億円弱の増などが影響しまして64.7%の増と。農林水産業費の減額につきましては、畜産振興費の減については、東城ポートリーの鶏舎整備の終了に伴うもの、また中山間地域等直接支払事業の取り組み面積の減などによりまして、全体で7.2%の減額となっております。商工費では、商工振興事業、これもコロナによる緊急経済雇用維持支援助成であるとか、感染拡大防止補助などにより、2億3,889万円の増とあわせてキャッシュレス決済導入支援事業などの増額によりまして、83%の増額となっております。⑧の土木費については、除雪事業の増額と、上野総合公園のトラック整備、また、メインスタンドの防水工事などの決算額が増えたため、2億2,151万円の増額となって、全体では25.4%の増額決算となりました。教育費では、教育振興でタブレット端末の整備によって、1億

4,996万円の増と。小学校施設整備というのは、タブレット端末整備する環境整備と特別教室の空調設備を整備した関係で、1億4,434万円増額。トータル10.3%の増となっております。災害復旧費については、大きく減額となっております。これは、廃棄物処理施設、東城し尿処理施設、災害復旧事業が終了したということと、現年公共災については、特に秋以降に工期が限定される河川の復旧事業の進捗状況によりまして、現年公共災が減額となったために、全体で21.4%の減となったものでございます。公債費については4.6%の増額分となっております。9ページが今度は性質別での増減でございますが、内容はほとんど重複いたしますが、特徴的なところだけ。物件費の増については、除雪事業に係るものとタブレット端末の整備に係ることが要因しております。補助費につきましては、特別定額給付金の事業により伸びております。普通建設については新焼却施設と上野総合公園のトラック整備などにより、大きく伸びた決算となりました。災害復旧については先ほど申し上げましたとおり、東城し尿処理施設が皆減となったことにより減額となっております。また、最下段、繰出金については、公共下水道事業の繰出金が公営企業に移行したことによりまして減額。このものについては補助費へ加算ということに、3年度からはなりません。13ページに参考資料といたしまして、新型コロナウイルス感染対策の実施状況ということで、各補正予算へ計上いたしました令和2年度に実施した事業区分と主な事業内訳についてはごらんのとおりです。トータル45億5,400万円余りの事業を2年度で決算をいたしました。また、約7億円については、令和3年度へ繰り越して、実施を継続してやっております。地方消費税の増収分、また、森林環境譲与税の用途については14ページに記載しております。15ページが特別会計の決算概要でございます。11会計、ごらんのとおりでございます。また、公営企業会計決算につきましては、先ほど監査委員の報告がございましたので省略させていただきます。最後に基金の残高。ごらんのとおり、財調については36億円余りの残高ということになっております。非常に簡単でございますが、決算概要の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○五島誠委員長　　ただいまの説明について質疑があれば許します。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長　　なしと認め、質疑を終結いたします。以降の審査については分科会で行うものといたします。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長　　異議なしと認めます。本日はこれもちまして散会をいたします。ありがとうございました。

午後3時58分　　散　　会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

予算決算常任委員会

委員長